

2 主要な事業の状況

(1) 大竹を愛する人づくり

中学校教育振興事業(英語力向上事業)

836 千円

担当 総務学事課

日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定の検定料を，市内の中学校に通う中学3年生を対象に全額助成（年1回）します。中学3年時の目標を定めることで，中学生全体の英語力の向上を目指します。

奨学金貸付事業

9,661 千円

担当 総務学事課

経済的な理由により修学の機会がなくなることをないよう，学資の貸付を行います。
平成24年度から，市内に一定期間居住することを要件とした奨学金の返還免除制度を導入しています。

こども相談室運営事業

9,521 千円

担当 総務学事課

家庭等で問題を抱えながら生活をしている子ども・保護者等に対し，幼児期から青年期まで一貫した相談を実施できる場所を提供するとともに，不登校の児童・生徒に対し，学習・生活面での支援を行い自立への基礎を培います。

学習環境サポート・読書活動推進事業

13,731 千円（小学校費）

8,149 千円（中学校費）

担当 総務学事課

通常の学級に在籍する発達障害などのある児童・生徒へのサポートのため「学級支援員」を配置し、個に応じたきめ細やかな指導を行います。

学校図書館に読書及び学習活動上の支援を行う「読書活動推進員」を配置することで、市内小中学校の読書及び学習環境を整え、幅広い視野を持った心豊かな児童・生徒を育成します。

放課後子ども教室事業

2,800 千円

担当 生涯学習課

放課後や週末における子どもたちの活動拠点（居場所）を確保するため、地域や各種団体等と連携し、学校や公民館等を活用して様々な体験活動や学習機会の場を提供します。